

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚悟症 等の既往	睡眠覚悟症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見たか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No				
224	B07000240	16	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	—	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/3/5 (朝)39.2°C。本剤は投与OKです。(9:20)他院から電話で「A型Flu、39.8°C。本剤は投与OKです。」。タミフル75mg×2/日の投与開始。(9:30)39.8°C。(夜)39.1°C。 2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(9:00)他院から、「今暴れていて困る」。救急車で当院へ搬送。体温は不明。(9:30)異常行動、せん妄状態回復(確実ではない)。(9:00)当院来院、少し、ボンヤリしているがおとなしい。脳波検査。稀に右中心部にスパイク、基礎リズムやや不規則(8ヶ月前の脳波より良好であった)。点滴リタT3 500mL、ビタミンB、C、セルシン10mg1筒管注。全く普通になって帰宅。	異-2-42		
225	B07003912	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	—	No	—	Yes	Yes	—	—	No	No	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてかたがたい気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。本剤服用後2時間後に出現。発熱38.6°C(覚醒時) 2007/02/27熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさ(非重篤)が続いた。 2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。 2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないしんどさは回復した。	異-3-24			
226	B07005448	16	年	男性	異常行動	2006/12/22 2006/12/23 2006/12/23 2006/12/24 2006/12/24 2006/12/25 2006/12/25 2006/12/26 2006/12/26 2006/12/27	不明	2006/12/23	4:00	○	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	Yes	—	—	—	—	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。登校(高校)する。(16:00)午睡から目覚めたら、40°Cの発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果:FluB サンプル採取箇所:鼻腔 発症時自覚所見:発熱(40°C)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。 2006/12/23 (4:00)急に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅(コンビニは幹線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39°C台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。 2006/12/26 インフルエンザ、軽快・回復 2006/12/27 本剤朝内服後投与終了。	無	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。登校(高校)する。(16:00)午睡から目覚めたら、40°Cの発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果:FluB サンプル採取箇所:鼻腔 発症時自覚所見:発熱(40°C)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。 2006/12/23 (4:00)急に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅(コンビニは幹線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39°C台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。 2006/12/26 インフルエンザ、軽快・回復 2006/12/27 本剤朝内服後投与終了。	異-1-17
227	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	—	—	—	—	Yes	—	No	No	No	—	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自覚所見:発熱、咳嗽。タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りた為に両下肢骨折す。救急車にて入院となる。	異-1-17			
228	B04008399	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	—	1時間45分	—	—	—	—	—	—	—	—	2004/2/3 咳、頭痛発現。 2004/2/4 (15:00)39°C。(夕方)受診。体温:39.3°C、インフルエンザ判別テスト陰性、インフルエンザ流行のため、シメトレル、抗生剤など処方。 2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に朝食とれた。午前本院受診。体温:38.6°C。インフルエンザ判別テストA型(+), B型(-)。点滴中はマンガの本を読む。父が迎えに来院。本剤を昼食後に服用し、シメトレルは中止する旨、本人に伝える。(13:30)父と一緒に昼食をとり、本剤内服。いつもと変化はない。(14:00~)自宅で留守番しながら寝る。 2004/2/5 (15:45頃)突然、素足で裏口から自宅を(雪降っていた)飛び出し、1m以上のコンクリートべいを飛び越え線路を横断し、国道のガードレールも越え、走ってきたトラックに身を投じた。救急で他院へ搬送されるも胸部外傷によるショック死と診断される。	調査不可能	異-1-18	
229	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	—	—	—	—	Yes	発熱持続	—	—	—	—	—	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のため本剤投与開始(150mg/日 ~1/26)。夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから逃げるような行動をとり、救急外来を受診。発熱妄想と言われ帰宅。CT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。 2004/01/23 妄想回復。	不明	異-1-36	
230	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	16:00	×	Yes	—	約3.5時間	Yes	—	No	No	No	—	No	・洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分程叫ぶ。 ・その後、リビングを駆け回る、ピョンピョン跳ぶ。 ・「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと興奮。」	異-2-22		
231	B07004079	17	年	男性	異常行動	2005/11/28 2005/11/29 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	19:00	2005/11/28	21:30	○	Yes	—	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(~05/11/29)(夜)突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としっかりした口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンション5Fのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時も口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。	異-3-26		
232	B05025437	18	年	男性	異常行動	2006/1/11	10:00、18:30	2006/1/11	21:00	○	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/1/10 (夜より)発熱。 2006/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1°C。インフルエンザAにて本剤処方。帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)36.7°C。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)。異常行動回復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。	子供の頃に寝ぼける事が度々あった。	異-1-68	
233	B06026848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動	2007/3/23	朝	2007/3/25	朝	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。昼頃、2階の窓より飛び降りて胸腰椎を圧迫骨折。診断は胸椎第一・第二骨折及び頸椎第一・第二・第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストカットの傷に気づいた。	異-2-12		
234	B07013137	18	年	男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/14	夕	2007/3/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2°C)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。 走って飛び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。	異-2-12		